

# 狩猟＝鳥獣捕獲

# のことを知って

# 狩猟免許を取得しよう



愛媛県では年3回(8月、9月、12月)狩猟免許試験を実施しています。

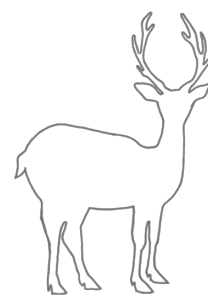
狩猟は、単に鳥獣を捕獲するだけではなく、農林業などの鳥獣被害対策や、経験を積み地域の活動に加わることに繋がります。



愛媛県 県民環境部 環境局 自然保護課

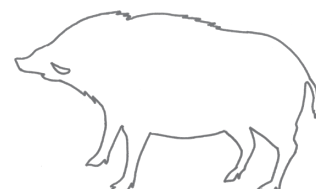
[問い合わせ先] 〒790-8570 愛媛県松山市一番町4丁目4-2 電話:089-912-2365

# 狩猟に参加しませんか



育てた農作物、林産物がイノシシ、タヌキ、ハクビシンの被害にあい、柵を置いたり、追い払ったり、手を尽くしてもなかなか効果がない。山でシカを見た。希少な植物がシカに食べられている。このような経験をしたことがありますか。

野生鳥獣の個体数がこれまでになく増え、人口が減った地域では対策が上手く進まず、人が暮らす場所と野生鳥獣の距離が接近しすぎていることが問題となり、県内はもとより全国に広がっています。



鳥獣捕獲の担い手が必要です

捕獲には狩猟免許が必要です

狩猟を始める目的として、田畑を荒らす鳥獣を捕獲すること、アウトドアレクリエーションとして捕獲やジビエを楽しむことなどが挙げられます。

現在は、増えすぎた個体数を減らすために、狩猟者に対する社会的な要請が大きくなり、狩猟者は鳥獣捕獲の担い手として期待されています。



個人的な目的でも社会的行動になるけん

鳥獣の捕獲には狩猟免許が必要ですが、免許を取得することは自らの目的に留まらず、社会に貢献することに繋がっています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGs (エス・ディー・ジーズ) で行動しよう

**狩猟免許を取得して鳥獣を捕獲することは**  
**農林業などの被害対策 に繋がります**  
**生物多様性の保全 に繋がります**  
**地域ぐるみの社会貢献 に繋がります**

2015年、国連は 人々の暮らしを保障しながら平和と地球の環境を守る宣言をまとめました。これを実現するためにどう行動するか、具体的な目標をSDGs (エス・ディー・ジーズ：持続可能な開発目標) とし、2030年までの達成を目指しています。

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsには、17の目標があり、環境、経済、社会をバランスよく成り立たせることを目指しています。17の目標には、より具体化した169のターゲットがあります。

このうち「狩猟＝鳥獣捕獲」に関わることを考えてみましょう。



【目標2】 飢餓に終止符を打ち、食糧の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する。

ターゲット2.4 2030年までに、持続可能な食糧生産システムを確保し、生産性および生産の向上につながるレジリエントな農業を実践することにより、生態系の保全、気候変動や極端な気象現象、干ばつ、洪水その他の災害への適応能力向上、および土地と土壌の質の漸進的改良を促す。

➔ 鳥獣の被害を減らし、持続可能な農林業などを推進することが必要



【目標15】 森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る。

ターゲット15.4 2030年までに持続可能な開発に不可欠な便益をもたらす山地生態系の能力を強化するため、生物多様性を含む山地生態系の保全を確実に行う。

➔ 個体数管理をし、希少な植物を食害から守り、生物多様性を保全することが必要



【目標17】 持続可能な開発に向けてグローバル・パートナーシップを活性化する。

ターゲット17.17 さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する。

➔ 狩猟をする仲間と経験を積み、地域ぐるみで鳥獣対策をすすめることが必要

# 狩猟免許を取得して鳥獣を捕獲することは 農林業などの被害対策に繋がります

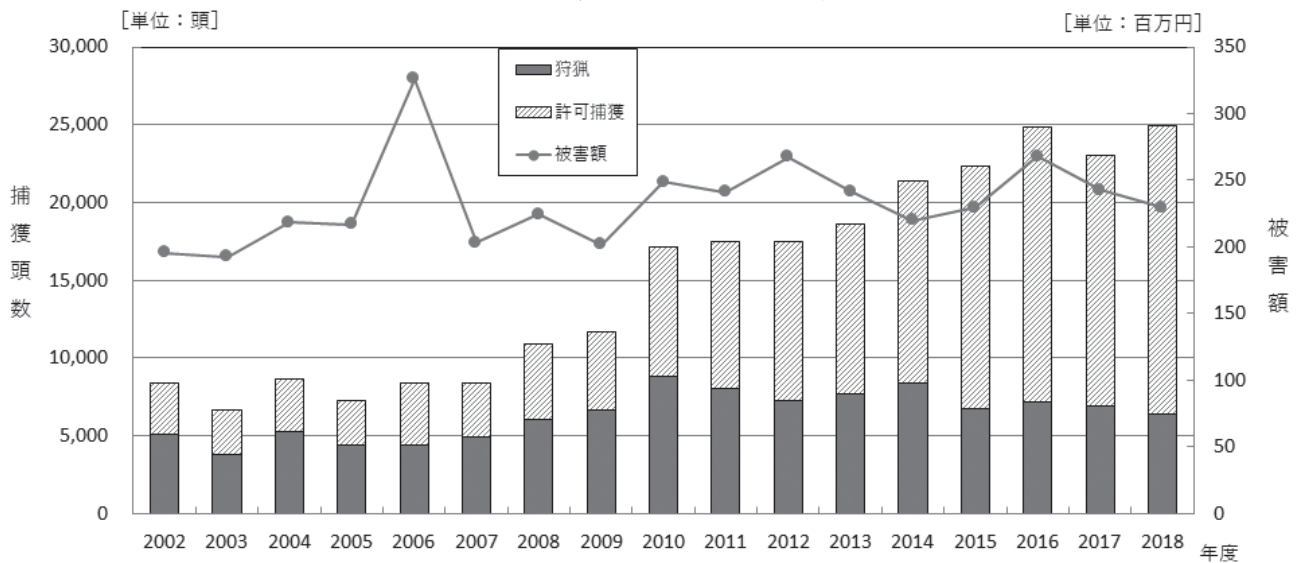


捕獲頭数が増えているが、被害を減らすのは難しい。  
持続可能な農林業を推進するために、被害対策は続いている。

【愛媛県の目標】・イノシシの被害額を1億円程度に抑えるため、年間30,000頭を捕獲する。

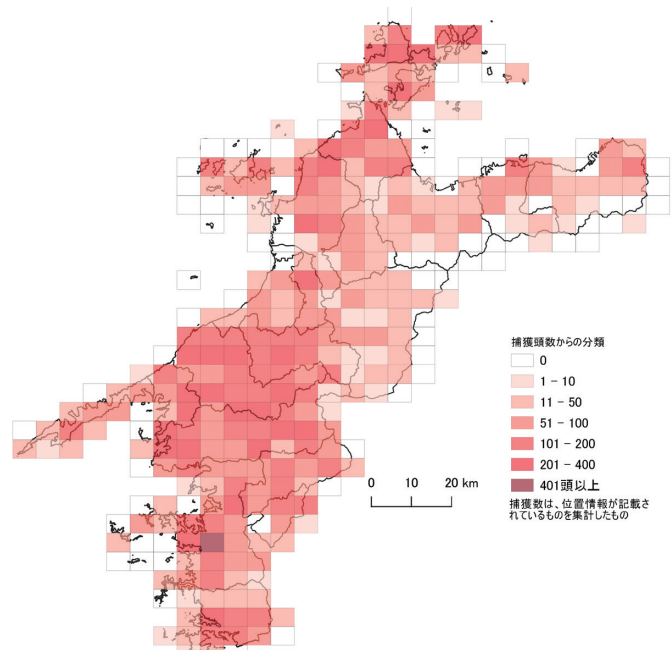
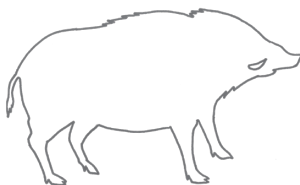
(第二種特定鳥獣管理計画より)

イノシシによる農作物被害額と捕獲頭数の推移



〔現状〕  
愛媛県のイノシシによる  
農作物被害額 229,537千円

《実行》  
年間捕獲実績 24,893頭 (2018年度)



イノシシ捕獲位置の分布 (2017年度)

# 狩猟免許を取得して鳥獣を捕獲することは 生物多様性の保全に繋がります

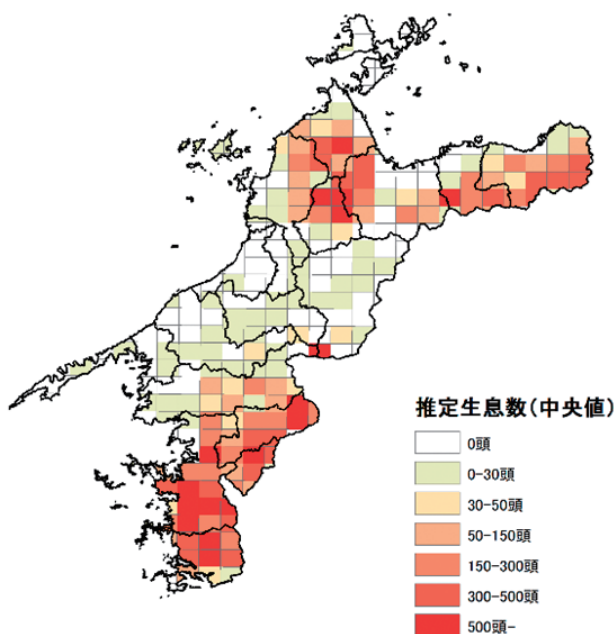
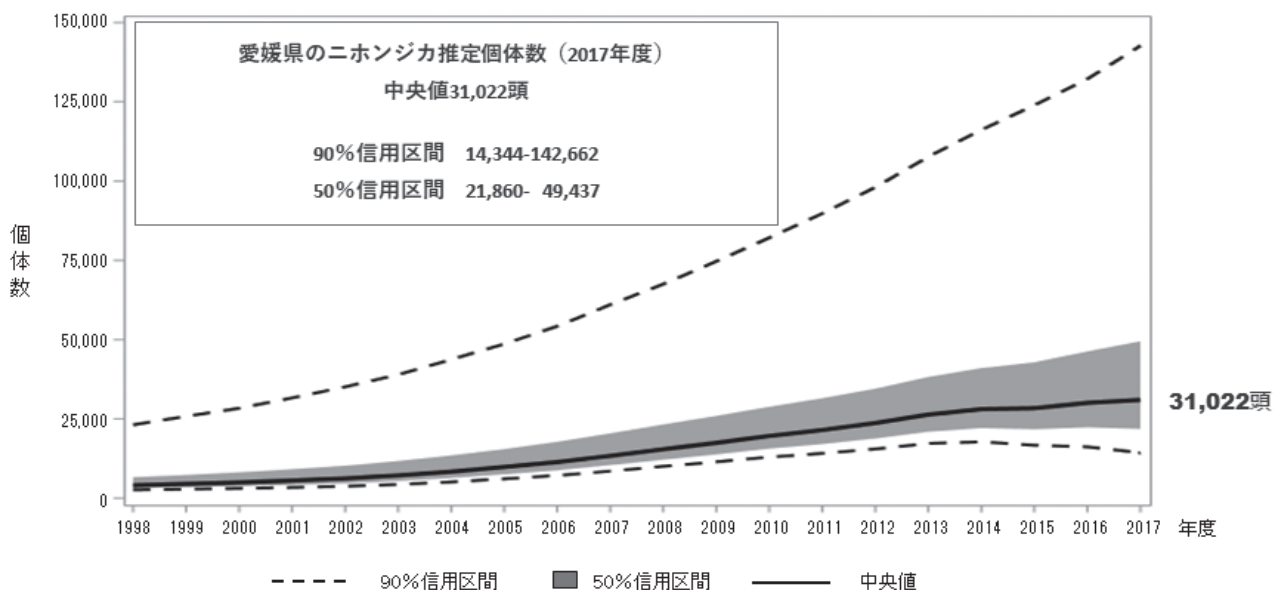
15 陸の豊かさも  
守ろう



ニホンジカの生息頭数は年々増加し、生物多様性損失の防止を図ることが課題。  
山地生態系を保全するために、被害対策は続いている。

【愛媛県の目標】・ニホンジカの生息頭数を、2023年度までに2014年度の半数に  
近づけるため、年間11,000頭を捕獲する。  
(第二種特定鳥獣管理計画より)

[単位：頭]



ニホンジカ生息の分布 (2017年度)

〔現状〕

愛媛県のニホンジカによる  
農作物被害額 17,528千円  
森林被害実損面積 237 ha

《実行》

年間捕獲実績 9,357頭 (2018年度)



# 狩猟免許を取得して鳥獣を捕獲することは

# 地域ぐるみの社会貢献に繋がります

17

パートナーシップで  
目標を達成しよう

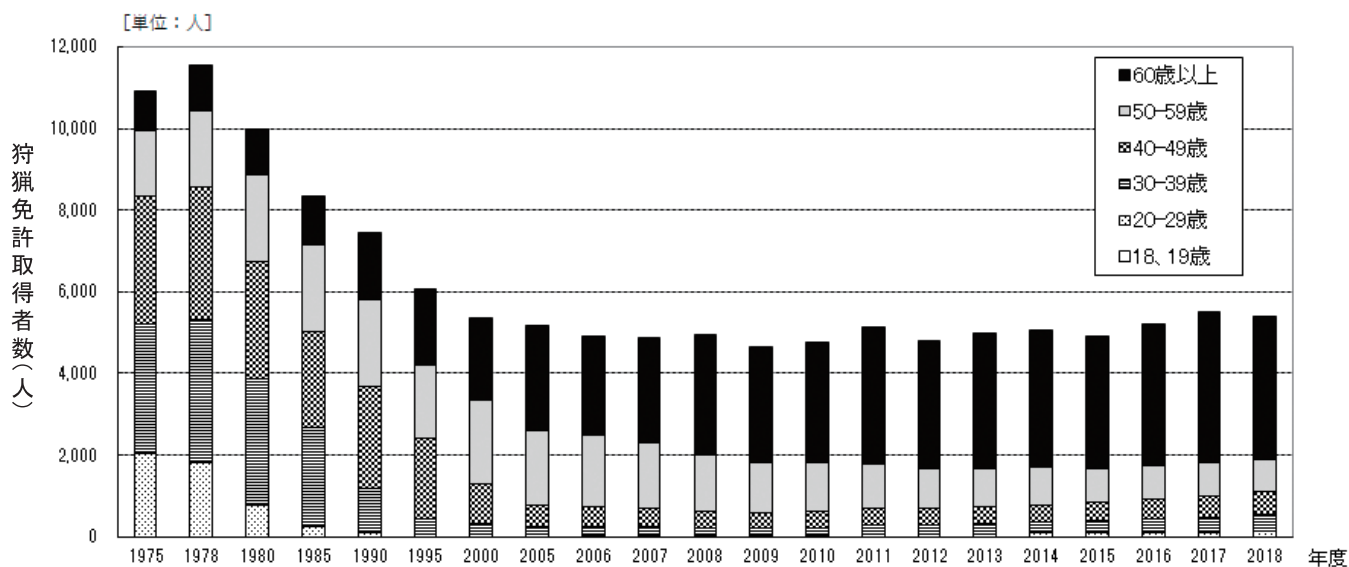


狩猟免許の取得者は減少するうえ高齢化しており、捕獲が進まず、鳥獣被害を減らすのは難しい。

地域ぐるみで鳥獣対策をするため、捕獲の担い手確保対策は続いている。

【愛媛県の目標】・狩猟免許取得者の人数が2015年度現在の4,911人より増加する。  
(生物多様性えひめ戦略 成果指標より)

年代別の狩猟免許取得者の推移

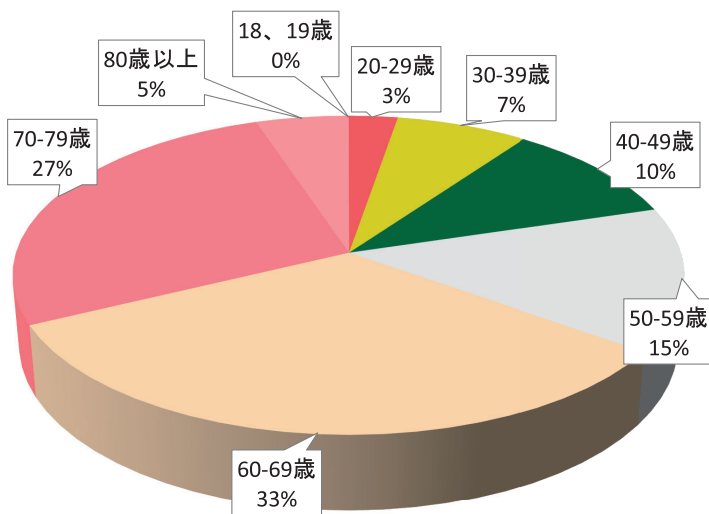
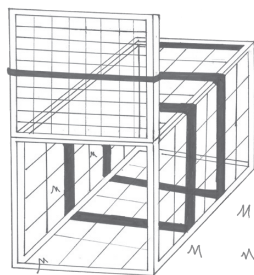


【現状】

愛媛県の狩猟免許所持者数 5,380人  
うち60歳以上の割合 65%

《実行》

狩猟免許所持者のうち狩猟をする人数  
4,207人 (2018年度)



狩猟免許取得者の年代内訳 (2018年度)

もっと知ろう

# 生物多様性えひめ戦略 for SDGs

生物多様性の  
持続可能性  
大事やけん



私たちは、自然環境にある植物などが作り出す酸素によって呼吸し、水、農水産物などの食べ物や木材、絹、綿など衣類の原料を得るなど、生物多様性がもたらす恵みを受けて暮らしています。

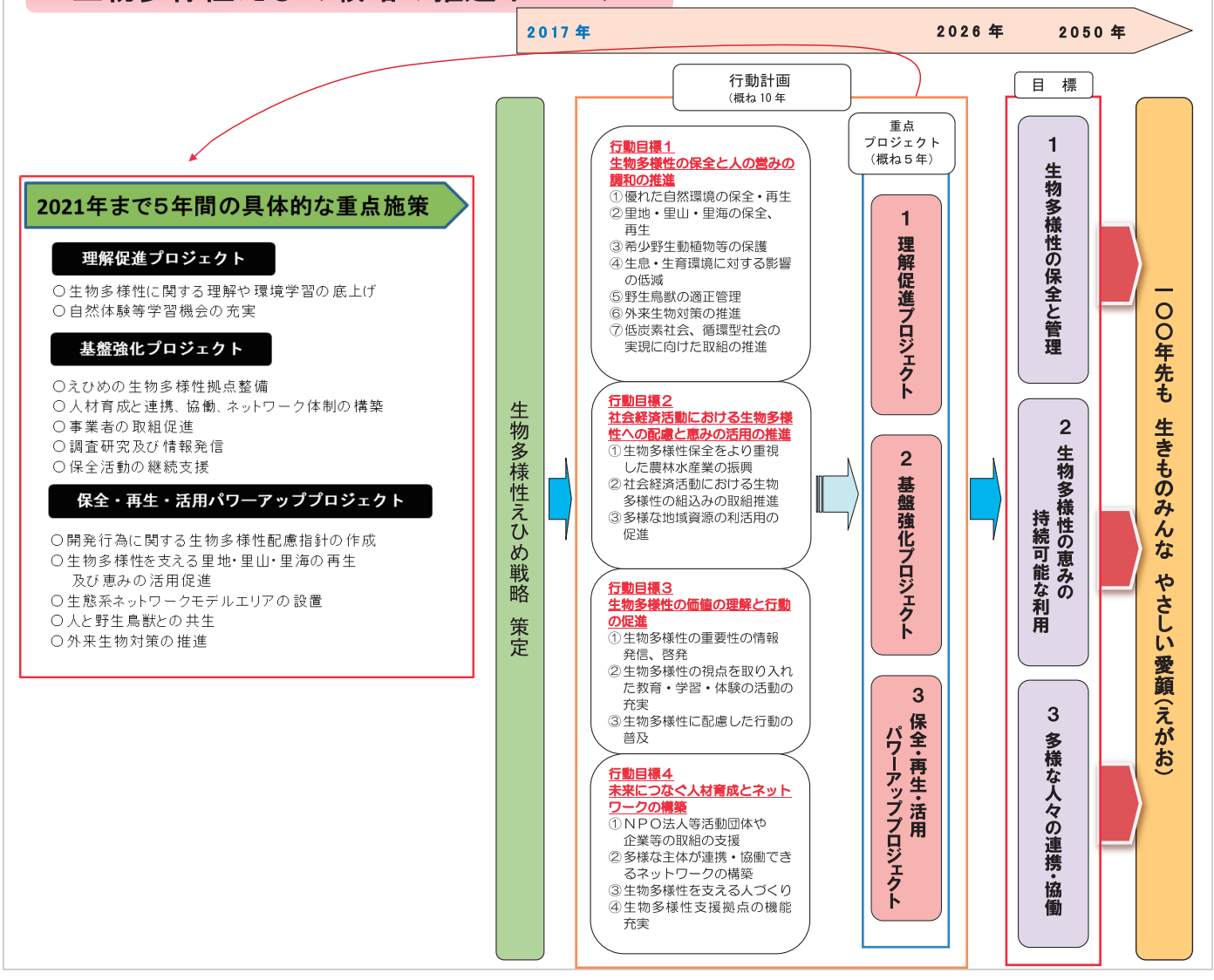
山、川、海にもたらされた里地、里山、里海に広がる多様な自然のもと、魅力と活力に満ちた農林水産業やものづくりが営まれている地域特性が愛媛県にはあります。

将来にわたって生物多様性の恵みを楽しみ、人と自然が共生し、豊かな自然と文化が守り育まれる社会の実現（持続可能性）を目指し、「生物多様性えひめ戦略」を策定しています。

生物多様性えひめ戦略について、詳しくはこちらをご覧ください。

<https://www.pref.ehime.jp/h15800/senryaku29/senryaku2.html>

## 生物多様性えひめ戦略の推進イメージ



# 狩猟免許取得のしかた



試験について、詳しくはこちらをご覧ください。  
<https://www.pref.ehime.jp/h15800/choujyu/syuryo.html>

→ 愛媛県 狩猟

## ① 試験会場を決める

愛媛県では、8月、9月、12月に各1回（合計3回）狩猟免許試験を実施  
試験会場は5会場から選ぶ

東予地方局、今治支局、中予地方局、南予地方局、八幡浜支局 の各会場  
※ただし、12月は東予地方局、中予地方局、南予地方局 の各会場

## ② 試験の出題を知る

- ・ 知識試験 問題を解く  
鳥獣保護管理法、猟具、鳥獣等に関する知識
- ・ 適性試験 身体検査を受ける  
視力、聴力、運動能力
- ・ 技能試験 実技をする  
鳥獣の判別、猟具の判別（網猟、わな猟のみ）、猟具の取扱い、  
距離の目測（第一種銃猟、第二種銃猟のみ）

免許には種別があり、  
種別に応じた出題がある

- ・ 網猟
- ・ わな猟
- ・ 第一種銃猟
- ・ 第二種銃猟

試験の予備講習会を実施しています。  
詳しくは、一般社団法人愛媛県猟友会へお尋ねください。  
松山市大手町1丁目8-2 電話番号：089-923-0325

## ③ 出猟のことを知る

- ・ 狩猟の時期（猟期）  
毎年11月15日から翌年2月15日まで  
愛媛県では、イノシシとニホンジカは、毎年11月1日から翌年3月15日まで
- ・ 免許と法定猟具  
使用できる猟具は、網猟免許→網（種類限定）、わな猟免許→わな（種類限定）、  
第一種銃猟免許→装薬銃・空気銃、第二種銃猟免許→空気銃

## ④ 狩猟をするまでの費用を知る

- ・ 試験手数料 5,200円 （既に他の免許を所持している場合3,900円）
- ・ 3年毎の更新手数料 2,900円
- ・ 狩猟をするときの登録手数料 1,800円
- ・ 狩猟をするときの狩猟税 網猟・わな猟 8,200円、第一種銃猟 16,500円、  
第二種銃猟 5,500円 ※減免される場合あり



## ⑤ 猟具の費用を知る

品目	概算価格	備考
銃関係	銃	10万円～ 散弾銃（水平2連銃、上下2連銃、半自動銃など）、ライフル銃、空気銃など（中古銃は約5万円～）
	装弾（32g実包）	1発 約80円～ 通常は25個入りのケース販売
	ガンロッカー	3万円 銃の自宅保管用
	装弾ロッカー	1万円 実包の自宅保管用
	洗い矢	4千円 銃の掃除用
	潤滑油	1千円 銃の手入れ用
	銃カバー・ケース	3千円～ 銃の運搬、携帯に使用
	スリング(負革)	3千円～ 銃を肩に掛けるためのベルト
	弾帯	3千円～ ベルト状の携帯用の弾入れ
わな関係	網やわな	数千円～ 数十万円 網、くくりわな、はこわななど
	標識(名札)	数百円～ 網やわなにつけるネーム標識
ウェア関係	コート	数千円～ 寒気や雨などから身体を保護
	帽子	3千円～ 目立つ色による誤射、ケガの防止
	狩猟用ベスト	1万円～ 目立つ色による誤射防止
	靴	数千円～ 防寒、滑り止め、ケガ防止
	手袋	1千円～ 防寒、銃の操作の際の滑り止め

「（一社）大日本猟友会ホームページから引用（表現を一部修正）」

### 愛媛県には、狩猟免許取得などの支援制度があります。

新たに狩猟免許を取得する人を対象に、狩猟の魅力や基礎的な知識に関する講座「ハンター養成塾」を年4回開講し、3回以上受講した人には狩猟免許や銃の所持許可に関する費用を補助しています。

受講生の募集は例年4月に行っています。興味のある方は下記へお問い合わせください。

[問い合わせ先] 愛媛県 農林水産部 農業振興局  
農産園芸課 鳥獣害対策係  
電話番号：089-912-2554



# 狩猟 = 鳥獣捕獲 × SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



➡ 鳥獣の被害を減らし、持続可能な農林業などの推進へ



➡ 山間地で個体数管理をし、希少な植物を食害から守り、生物多様性の保全へ



➡ 狩猟をする仲間と経験を積み、地域ぐるみの鳥獣対策へ

愛媛県はSDGsの達成を目指しています。  
狩猟免許を取得して、捕獲に参加しましょう。